

インドネシア社会経済史研究の再検討

参考文献

- 相沢伸広（2010）『華人と国家・・・インドネシアの「チナ」問題』書籍工房早川。
- 新井健一郎（2012）『首都をつくる・・・ジャカルタ創造の50年』東海大学出版会。
- アン・ダナム（2015）『インドネシア農村工業・・・ある鍛冶村落の記録』（前山つよし・訳、加納啓良・監訳）慶応義塾大学出版会。
- 大木 昌（2006）『稲作の社会史・・・19世紀ジャワ農民の稲作と生活史』勉誠出版。
- 太田 淳（2014）『近世東南アジア世界の変容・・・グローバル経済とジャワ島地域社会』名古屋大学出版会。
- 大橋厚子（2010）『世界システムと地域社会・・・西ジャワが得たもの失ったもの1700—1830』京都大学学術出版会。
- 岡本正明（2015）『暴力と適応の政治学・・・インドネシア民主化と地方政治の安定』京都大学学術出版会。
- 小國和子（2003）『村落開発支援は誰のためか・・・インドネシアの参加型開発協力に見る理論と実践』明石書店。
- 鏡味治也（2000）『政策文化の人類学・・・せめぎあうインドネシア国家とバリ地域住民』世界思想社。
- 加納啓良（2004）『現代インドネシア経済史論』東京大学出版会。
- 川井秀一・水野広祐・藤田素子編（2012）『熱帯バイオマス社会の再生・・・インドネシアの泥炭湿地から』京都大学学術出版会。
- 川村晃一・編（2015年）『新興民主主義大国インドネシア・・・ユドヨノ政権の10年とジョコウィ大統領の誕生』アジア経済研究所。
- 北村由美（2014）『インドネシア 創られゆく華人文化・・・民主化後以降の表象をめぐって』明石書店。
- 倉沢愛子（2001）『インドネシア路地裏フィールドノート』中央公論新社。
- 倉沢愛子（2006）『インドネシア、イスラームの覚醒』洋泉社。
- 倉沢愛子（2011）『戦後日本＝インドネシア関係史』草思社。
- 倉沢愛子・編（2013）『消費するインドネシア』慶応義塾大学出版会。
- 倉沢愛子（2014）『9・30 世界を震撼させた日・・・インドネシア政変の真相と波紋』岩波書店。
- 後藤乾一（2012）『東南アジアから見た近現代日本・・・「南進」・占領・脱植民地化をめぐる歴史認識』岩波書店。
- 後藤乾一・山崎功（2001）『スカルノ、インドネシア「建国の父」と日本』吉川弘文堂。
- 小林寧子（2008）『インドネシア 展開するイスラーム』名古屋大学出版会。
- 貞好康志（2016）『華人のインドネシア現代史』木犀社。
- 佐藤百合（2011）『経済大国インドネシア・・・21世紀の成長条件』中公新書。
- 菅原由美（2013）『オランダ植民地体制下ジャワにおける宗教運動・・・写本に見る19世紀インドネシアのイスラーム潮流』大阪大学出版会。
- 弘末雅士（2004）『東南アジアの港市世界・・・地域社会の形成と世界秩序』岩波書店。

- 杉島敬志・中村潔編（2006）『現代インドネシアの地方社会・・・ミクロロジーのアプローチ』NTT 出版。
- 津田浩司（2011）『「華人性」の民族誌・・・体制転換期インドネシアの地方都市にフィールドから』世界思想社。
- 中島成久（2011）『インドネシアの土地紛争・・・言挙げする農民たち』創成社。
- 西野節男・服部美奈（編）（2007）『変貌するインドネシア・イスラーム教育』東洋大学アジア文化研究所・アジア地域研究センター。
- 弘末雅士（2004）『東南アジアの港市世界・・・地域社会の形成と世界秩序』岩波書店。
- 本台進（編）（2004）『通貨危機後のインドネシア農村経済』日本評論社。
- 本名純（2013）『民主化のパラドックス・・・インドネシアにみるアジア政治の深層』岩波書店。
- 福島真人（2002）『ジャワの宗教と社会・・・スハルト体制下インドネシアの民族誌的メモワール』ひつじ書房。
- 増田和也（2012）『インドネシア 森と暮らしと開発・・・土地をめぐる〈つながり〉と〈せめぎあい〉の社会史』明石書店。
- 増原綾子（2010）『スハルト体制のインドネシア・・・個人支配の変容と一九九八年政変』東京大学出版会。
- 見市建（2004）『インドネシア・・・イスラーム主義のゆくえ』平凡社。
- 見市建（2014）『新興大国インドネシアの宗教市場と政治』NTT 出版。
- 水野廣祐（1999）『インドネシアの地場産業・・・アジア経済再生の道とは何か』京都大学学術出版会。
- 宮城大蔵（2004）『戦後アジア秩序の模索と日本・・・「海のアジア」の戦後史 1957～1966』創文社。
- 宮本謙介（1989）「現代インドネシアの『開発』と不安定就業・・・西部ジャワ農村の構造変化と農外労働市場」田坂敏雄（編）『東南アジアの開発と労働者形成』勁草書房。
- 宮本謙介（1993）『インドネシア経済史研究・・・植民地社会の成立と構造』ミネルヴァ書房。
- 宮本謙介（1996）「ジャワ近世における「封建的生産様式」について・・・M.C.ホードリーの問題提起によせて」『歴史学研究』687号。
- 宮本謙介・他編（1999）『アジアの大都市〔2〕ジャカルタ』日本評論社。
- 宮本謙介（2000）「17～19世紀ジャワの社会経済史研究・・・諸外国の研究動向を中心に」『社会経済史学』第65巻第6号。
- 宮本謙介（2001）『開発と労働・・・スハルト体制期のインドネシア』日本評論社。
- 宮本謙介（2003a）『概説インドネシア経済史』有斐閣。
- 宮本謙介（2003b）「インドネシア都市経済史覚書・・・都市労働者の形成史を中心に」『経済学研究』（北海道大学）第53巻第3号。
- 村松伸・島田竜登・籠谷直人編（2016）『メガシティ3 歴史に刻印されたメガシティ』東京大学出版会。
- 森下明子（2015）『天然資源をめぐる政治と暴力・・・現代インドネシアの地方政治』京都大学学術出版会。

吉原直樹・編（2005）『アジア・メガシティと地域コミュニティの動態・・・ジャカルタの RT/RW を中心として』お茶の水書房。

頼俊輔（2012）『インドネシアのアグリビジネス改革・・・輸出指向農業開発と農民』日本経済新聞社。